

2008年4月14日  
MR/J11/08



UNITED NATIONS  
UNIVERSITY

メディア用原稿  
非公式記録

国際連合大学 広報部  
〒150-8925  
東京都渋谷区神宮前 5-53-70

Tel.: +81-3-5467-1212  
Fax: +81-3-3499-2828  
E-mail: media@unu.edu  
Website: http://www.unu.edu/

## 国連大学、第3回市民公開講座を開催 アジアの気候変動政策について考える

**講座名:** 国際連合大学公開講座～地球規模課題シリーズ  
**テーマ:** アジアの気候変動政策～世界の動向とアジア諸国  
**日時:** 2008年4月18日(金) 午後4時15分～午後6時45分  
**場所:** 国連大学本部ビル(渋谷区) 5階エリザベス・ローズ国際会議場  
**講師:** 亀山康子 独立行政法人国立環境研究所地球環境研究センター 主任研究員  
**コメンテーター:** 鮎川ゆりか 財団法人世界自然保護基金ジャパン 気候変動特別顧問  
**主催:** 国連大学

- 国連大学では、第3回「国連大学公開講座～地球規模課題シリーズ」を開催する。本講座は日本語による市民向けの講座で、国連大学にご協力いただいている専門家と一緒に国際的な諸問題について考えていくイベント。対象は、学界、産業界、一般市民を含めた幅広い方々。各回のテーマは、国連大学出版部が刊行する図書から選択し、講師にそれぞれの図書の著者または編者を迎える。
- 4月18日(金)に開催される第3回講座では、講師に独立行政法人国立環境研究所地球環境研究センター主任研究員の亀山康子氏を迎える。亀山氏は2008年6月に国連大学出版部から刊行される『Climate Change in Asia: Perspectives on the Future Climate Regime』の編者の一人。コメンテーターには財団法人世界自然保護基金ジャパン気候変動特別顧問の鮎川ゆりか氏を迎える。
- 近年、気候変動レジームの議論は京都議定書の第1約束期間(2008年～2012年)終了後を見越して、将来の体制整備に国際的注目が集まっている。中でもアジア諸国は、その高い人口密度、増大する温室効果ガス排出量、急成長する経済、気候変動の影響への脆弱性などに鑑み、この気候変動レジームに大きく左右される。他方、能力の限界が多くのアジア諸国の国際的議論への参加を阻んできている。
- 『Climate Change in Asia: Perspectives on the Future Climate Regime』は、2年間におよぶアジアにおける国内制度過程の研究を踏まえ、気候変動問題、アジア諸国が抱える国際的議論に積極的に参加できない国内事情、そしてアジアの視点から見て有望な気候レジームについて検証している。また、気候変動の制度的側面を明らかにする他、気候変動問題と持続可能な発展の関係性についても言及している。
- 本講座は一般参加可能。会場の都合上、要事前申込み。尚、当日の様子は、ウェブキャストでも閲覧可能。詳細は右記のURLをご参照。 <http://www.unu.edu/isgi/>

当講座の取材をご希望される方は、国連大学広報部の谷野(やの)までご連絡ください。(電話:03-5467-1311、Eメール:media@unu.edu)

### 過去に開催した「国連大学公開講座～地球規模課題シリーズ」について

第1回講座は2月22日(金)に開かれ、2007年に刊行された『Unintended Consequences of Peacekeeping Operations』の編者の一人である青山学院大学准教授の青井千由紀氏を迎えて行われた。続く第2回講座では、『International Water Security: Domestic Threats and Opportunities』の編者の一人、東京大学大学院新領域創成科学研究科教授の中山幹康氏を迎えて3月21日(金)に行われた。それぞれ50名～70名の参加者があった。